



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp

令和元年5月24日 NO.2

(写真は5月21日撮影)

イングリッシュガーデン初夏の花



教職員の働き方改革（その2）

教育長 長谷川 浩司

30年前、「私は健康なときに年休を取ります。」という先生がいました。ビックリしました。この頃の私は、年休など取ったことがない年の方が多かったように思います。つまり、私には働き方改革などという考えは全くありませんでした。

でも今は、心身の健康維持、家庭生活の充実、社会事象への関心維持、深く物事を考えるためにも、多くの自由な時間は大切であると思うようになりました。国も県も教職員の超勤について希望をもっています。超勤の上限を月45時間未満、年間360時間未満がそれです。

大部分の方は、目標値は高過ぎると思うかもしれません。私も高いと思います。でも、一年かけて達成可能という状況を探って欲しいと思っています。私は教職員の皆さんに、期待しています。それは以下の実績があるからです。

ア 平成30年度の月超勤60時間以上の教員の割合は、前年比10.6%減であること

イ 午後の出張後は帰校しないこと、年間の年休取得予定に目標日数があること、ノー残業日があることなど、学校単位の取組があること

ウ 2年前より30分早めて、中学校の部活動終了時刻を18時と決定したこと

エ いくつかの学校で、有志で新たな楽しみをもつようになったこと
例、キャンプ、ラフティング、ゴルフ、サッカー観戦など

以上のことから、「早く帰ってもいい」から「早く帰った方がいい」という意識変革がなされつつあるのかなと感じます。

一方で、働き方改革は、教育水準を維持しつつ実現して欲しいと強く希望します。そのためには、計画性、事前準備、協働性、情報共有、自主的な研修などが、今まで以上に大切になってくると感じます。

巻頭写真に寄せて =みつけイングリッシュガーデン=



◇市のたよりに「みつけイングリッシュガーデン」で、5月25日(土)から『フラワーフェスティバル』開催の記事が、バラの写真と載っていました。

◇イングリッシュガーデンは、英国の歴史と文化が育んだ癒やしと安らぎのある自然風な景観で、1,000種類を超える植物が織りなす光景は、シーズン毎に表情を変え、ここはいつ行っても大きな感動と安らぎを手にすることができます。とはいえ、この時期はフラワーフェスティバルの紹介のように、園内が色とりどりのバラで彩られ、見学者の目当ては、バラの花を五月晴れのもとで観賞することにあるようです。

◇さて、21日の午前は久しぶりにまとまった雨が降り、お昼頃に雨が上がりました。「平日の雨上がり、見学者が少ないのでは…」と考えて、イングリッシュガーデンを尋ねてみました。ところがどうでしょう。多くの人が家族や友人グループで訪れていました。イングリッシュガーデンは大人気ですね。そして皆さん、バラの花を眺めたりお気に入りのバラの花の前で写真を撮ったりしていました。ピンクや赤、白、黄等のバラの花が棚やゲートに咲いているのも美しく思いましたが、私を強く引きつけたのが、巻頭写真の『ボーダーガーデン夏エリア』のテッセン、そしてメアリーセージの花でした。ともに紫色の花です。雨をいっぱい吸収し、生気を取り戻した緑の葉っぱの中に優しい紫色のテッセンの花、そしてその隣りに濃い紫色のメアリーセージがシュッシュッと葉の間からまっすぐに伸びて、癒やしとともに見る者に元気を与えてくれるのです。そしてこの後方に、大きな「ねぎぼうず」のようなヒルティフォリウムが顔を出し、いい空間です。しばらくここで見入ってしまいました。



◇テッセンは「鉄線」と書きますが、「鉄の線」とは無粋(ぶすい)です。

鉄の線のように強いツルをもつからだそうです。この時期、イングリッシュガーデンだけではなく、あちこちの庭先で見ることができ初夏を感じます。

また、メアリーセージは、英名でブルーサルビアという流通名があり、サルビアの仲間です。私の惹かれたこの二種の花は色が紫色です。紫は日本人に古い時代より高貴の色として、安らぎの色として受け入れられてきたように思います。

◇さて6月1日(土)は英国園芸研究家で、みつけイングリッシュガーデンデザイン監修のケイ山田さんが来園され、イングリッシュガーデンや花の説明があるそうです。ケイ山田さんの説明を聞くと一層花を育てることや観賞する楽しみが増すと思います。ぜひ出かけてみませんか。

コラム =教育(子育て)は、愛情のある「厳しさ」も必要です=



◇花の話題が続いて恐縮です…。イングリッシュガーデンで、パンジーやビオラが植えられていました。厳しい寒さに負けず、健気に可憐な花を咲かせるパンジーもほっこりとした気分させられる好きな花です。

◇パンジーは、晩秋から春までたくさんの花を次々と咲かせ、花期の長い

植物です。パンジーには色んな色の花があり、花の少ない冬期に開花するので人気で、各家の玄関や学校・公共施設等の玄関前によく飾られています。

◇私は雪があまり降らない地方のパンジーよりも冬、雪の下でじっと耐えて雪解けとともに新しく咲き出す新潟県のパンジーが、より美しいと感じます。この日見たパンジーは、時期が遅いこともありますが、花の色が今一つに感じました。先月、見附病院の花壇で見たパンジーも、色がくすんで見えました。温暖化の影響で年々積雪量が減っている影響でしょうか。雪の下で耐えたパンジーが、綺麗な色の花をつけると同じように、教育や子育ても、厳しさが必要だと思います。準備は教師や親がすべて行う。問題が解けないとすぐにヒントを出す。教えるでは、自ら考え判断し表現する子どもは育ちません。すぐに教えたいと思っても我慢をし、子どもにじっくりと考えさせる厳しさがあるこそ、『生きる力』の育成につながると私は考えます。(こ)

<4時から夢塾>「学校に戻ったら研修をやってみよう」と会議室を出る

5月10日(金)実施の「第一回：4時から夢塾」は、新潟大学附属長岡中学校の元井啓介先生から「校内研修の進め方」を学びました。

この研修は、各学校の校内研修の質の向上を願い、教頭と研究主任、二人の悉皆研修として実施をしました。まず元井先生から『今日のメニュー』として①課題意識の共有、②「病んでしまう仕事」からの脱却、③職員研修を進めるには（具体の提案）の三つがパワポで提示されたのですが・・・、このとき表題の

「『学校に戻ったら研修をやってみよう』と思って会議室から出る」も示されました。この一文を見た瞬間に、私はいい研修の始まりを予感したのです。その通りでした。概略を紹介します。



1 課題意識の共有

(1) 研修へのモチベーションが低いのはなぜ？⇒低い理由「三つ」を隣り同士で考えた。

・やらなくてもいいから。・やっても効果がないから。・他にやるべきことがあるから。

(2) 「病んでしまう仕事」の三つの要件・・・①自分で始めたことではない仕事 ②自分のキャリアが生かせない仕事 ③成果が見えない仕事

(3) 自分で始めたことではない仕事⇒研修を「自分で始めた仕事」にするか？「新教師の10か条」で普段の授業で意識していることはどれ？「10か条」で「いい授業とは何か」を検討している。

(4) 自分のキャリアが生かせない⇒どうやってキャリアを生かすか？ゼロからは多忙で過酷。

・以前にやった指導案でもよい ・誰かの先行実践でもよい ・WEBを積極的に活用する



2 成果が見えない仕事

(1) どうやって研修の成果を可視化するか ⇒ ①子どもの学力が向上する ②子どもの意欲や変化等を見取る ③教員間で良かった点を伝え合う ④管理職・指導主事から評価される ⑤保護者から評価される

(2) 子どもの学力が向上する⇒NRTは学力の一部しか測れない。普段から子どもの事実を語り合う教師集団に。

(3) 子どもの表情・意欲・変化を見取る⇒子どもの生活（生き方）そのものに目を向ける。

(4) 教員間で良かった点を伝え合う⇒見る視点を決めて参観し、メモを取って、その子どもの事実を語ることが大事。見ることが授業者・参観者の授業に返っていく職員研修にすること。

(5) 保護者から評価される⇒目指しているもの→カリキュラムマネジメント／開かれた教育課程

3 職員研修の機能 ①子どもが変わる ②先生方が変わる ③学校が変わる

◎ベテランが自信をもって、後進に楽しさややりがいを伝えられるのが職員研修機能の一つである。

<参加者の声>

- ・職員のモチベーションを高める方法、協議の視点について改善できることを見つかることができた。
- ・研修の原点に戻り、何のためにどう取り組んでいくのかを改めて考え方向性をもつことができた。
- ・職員間で授業を参観するために、どう先生方に意欲的に見てもらうかのヒントをいただいた。
- ・「後進に楽しさややりがいを伝える場が校内研修である」に共感。若い教員を育てていきたい。
- ・運動会を終えてからと考えていたが、「すぐに研修計画を進めていこう」という気持ちになった。

<4時から夢塾> 第二回 ー褒めてやってほしいー



第二回「4時から夢塾」は5月14日(火), 師がく指導者の小林恵子先生から「中学校英語授業の改善」を学びました。本研修は, 中学校英語授業の改善講座でしたが, 来春から全面実施される小学校外国語活動・英語に向けて関心が高く, 小学校教諭の参加が多数あり, 指導は「中学校英語」にとどまらず, 小・中学校の指導の違いについてなど, 小学校教員へも多くの指導がありました。概略を紹介します。

1 はじめに 「主体的・対話的で深い学び」とは?

小学校は「遊び」から「学び」へ 中学校 “game” から “task” へ

2 小学校外国語活動・英語と中学校英語の違い

・単語 (小・言える・読める 中・綴りが書ける) 文構造 (小・音や意味のまとまり 中・単語レベルに分解・文法理解) 話し言葉と書き言葉の違い (小・単語1語でも通じればOK 中・綴り・語順を正確に)



3 中学校英語授業の注意点

- (1) 基本文を用いた学習活動の工夫
○生徒の学校生活における人物や出来事を話題にする
○勝敗ではなく, 知的好奇心を満たす活動にする→生徒は本当に考えて発話しているか? 飽きることなく繰り返しているか? 発話する目的は何か? 活動の成果の確認場面はあるか
- (2) 本文を用いた学習活動の工夫
○導入時に Listening 教材として活用 (聞き取りのポイントを事前に知らせる)
○黙読させて「読めない・意味が分からない」語句を○(マル)で囲ませる
○読解力の育成 (ペアやグループで task に取り組ませる)
○内容理解の把握 (行間を読ませる Q&A を用意) How do you know that? Why (do you think so)?
○ピクチャーカードを用いた Oral Introduction で新出単語も導入

4 演習 ○ペアで「昨夜の9時に何をしていたか?」を質問や答える等の模擬授業を行った。

<参加者の声>

- ・英語が得意でないのですが, 今日の研修で気持ちが楽になりました。間違いを恐れず子どもと共に楽しんで学習したいです。
 - ・普段見過ごしているようなことを改めて気付かされました。特に, 行間を読ませる Q&A は参考になりました。
 - ・授業のアイデア, 進め方が分かり易かった。緊張するが出来ることを地道に行っていきたい。
 - ・今回のように小・中両方の教員を対象にした講座も, そのつながりが分かって良かったです。
 - ・スモールトークの具体的な使い方やその後の活動への導入等, 実践的で分かり易かった。
- ＝ (講座担当者が) 小学校の英語指導で強く残ったこと＝



- 英語指導は無理。指示だけでいい。褒め言葉が言えれば良い。子どもの発した言葉を理解しよう。
- 机間指導は英語でアドバイスが出来るといい。ゆっくりと簡単な英語でヒントを与えること。

指導力向上ドック

<教育支援部>

「師がく」と「新教師の10カ条」を連動させ、
改善方策を確認する。



<「指導力向上ドック」について>

- (1) 受講者は「目指す授業像、目標」及び「新教師の10カ条」から重点努力事項（5項目以内）を選択し、日々の実践において意識的な取り組みを行います。
- (2) 師がく指導者は、個々の教員の重点努力事項等を確認した上で、授業参観を実施し、具体的な改善方法及び良い点などをアドバイスします。
- (3) 受講者は、アドバイスをもとに工夫改善を加え、授業実践を継続するとともに、定期的に自己評価を実施し、達成状況や課題を確認します。
- (4) 各学校では、授業参観や児童生徒学習アンケート等を活用するなどし、保護者や児童生徒から、指導に関する評価等を得る機会を設定してもらいます。
- (5) 年度末の自己評価及びアンケート等により、達成状況を確認します。

<「師がく」:指導者紹介>

- ・小林 修 嘱託指導主事 見附小・見附第二小・名木野小・葛巻小
- ・磯部 徹 嘱託指導主事 上北谷小・南中・西中
- ・早田秀夫 嘱託指導主事 4中学校の理科担当
- ・海藤英紀 師がく指導者 田井小・新潟小・今町小
- ・熊谷正美 師がく指導者 見附中・今町中
- ・小林恵子 師がく指導者 8小学校, 4中学校の英語担当

<第1回訪問5月下旬～9月下旬> <第2回訪問10月上旬～2月上旬>

<子育て教育相談部>

<適応指導教室「すこやかルーム」及び訪問指導について>

相談や諸活動を通して、不登校状態の児童生徒の自立心や集団適応力を高めて、学校生活への復帰を支援しています。 <電話0258-63-5304>

< 適応指導教室（すこやかルーム）開室日時 >
月曜日～金曜日 午前10時～12時 午後1時～3時
※ 学校の長期休業日は閉室します。

- 児童生徒の居場所として、心の安定を図ります。
- 個別・集団活動を通して、自立心や社会性を養います。
- 保護者・学校関係機関と連携して、悩み解消に努めます。

< 訪問指導 >（家庭や学校）

○訪問指導は、家庭や学校と連絡調整して訪問日時を決定します。

※ 平成27年度から学校生活への復帰に向けて、在籍校を訪問し、支援・指導を行っています。



<科学教育部>

5月の活動報告

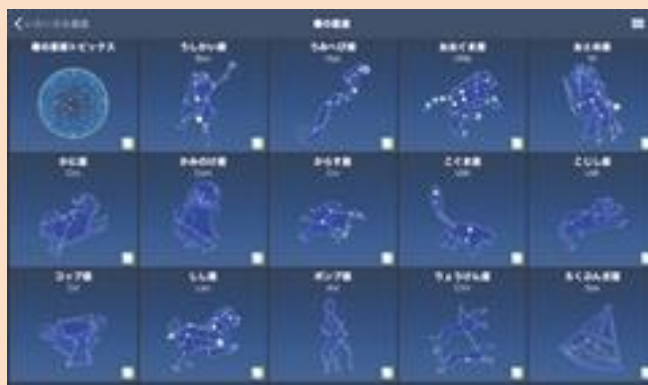
野外研修会

「天体観察会」 5月9日(木) 19:00~20:30

多少、薄い雲がかかっていた天気でありましたが、予定通り「天体観察会」を実施しました。「火星」が見える時間帯でしたが、火星は雲が覆い望遠鏡での観察はできませんでした。しかし、「月」は月齢4.2の月でしたが、明るすぎずにクレーターや陰影まではっきりと観察することができました。他にも「春のダイヤモンド」(しし座のデネボラ・おとめ座のスピカ・うしかい座のアルクトゥルス・りょうけん座のコル・カロリー)や北斗七星、はくちょう座、ふたご座ではカストルとポルックスの一等星を観察することができました。



昨年度の研修会では『星座表』というアプリを紹介しました。学校で行う天体観察会の時に、わからない星を調べたり探したりするときに便利です。今年度は他にも、『88星座図鑑』『星撮りくん』などのアプリを紹介しました。天体観察会の前に保護者の方におススメのアプリを紹介しました。保護者の方にインストールしてもらうと、子どもと保護者の方で、同じ画面を覗き込みながら充実した観察を行うことができます。



「88星座図鑑」アプリ画面

今後および6月の活動予定

<単元別研修>

① 小学校 「天体」	6月13日(木)	15:45~16:40
② 小学校5年 「魚のたんじょう」	6月27日(木)	15:45~16:40

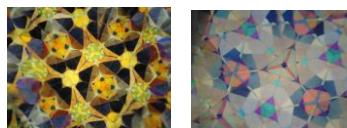


見附の自然をみつけませんか?植物の不思議や生きる生命力を学べます。理科の先生方だけでなく、どなたでも参加できます。昨年度は事務職員さんにも参加していただきました。興味ある方は理科主任の先生にお声掛けください!

<野外研修>

「大平森林公園の植物」 講師:五百川 裕(上教大教授)	6月11日(火)	15:15~16:40
--------------------------------	----------	-------------

<土曜子ども科学教室>



一般的な万華鏡と偏光万華鏡を作成します。きれいに見えますよ!

「万華鏡の世界」	5月25日(土)	10:00~11:30
----------	----------	-------------

